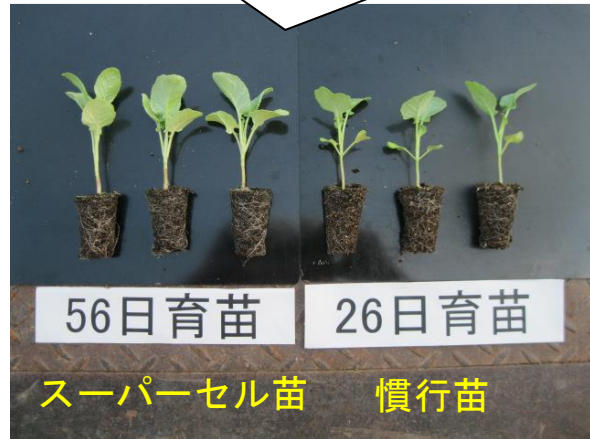


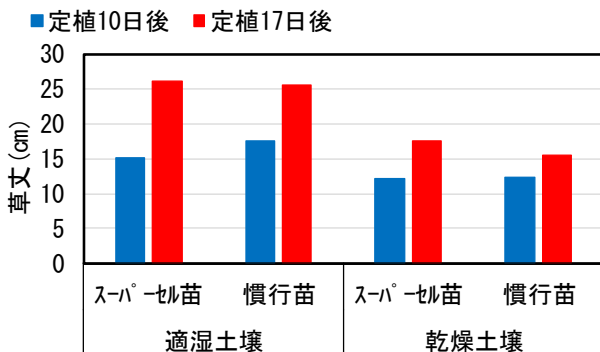
水田作ブロッコリーにはスーパーセル苗の利用が有効

秋冬ブロッコリーは、米麦との作業競合が少なく、主穀作経営に導入しやすい品目です。しかし、畑に比べ水はけの悪い水田では、雨の影響で適期に定植できず苗が老化してしまうことがあります。そこでスーパーセル苗（徳島県が開発）の利用について検討しました。スーパーセル苗とは、追肥せずかん水のみで慣行の倍以上の期間育苗した苗です。慣行苗と比較したところ、初期生育は適湿土壌ではやや遅れますが、乾燥土壌では同等以上であり、収穫量も同等でした。スーパーセル苗導入により、夏から秋にかけての時期の雨天による定植の遅れに柔軟に対応できます。

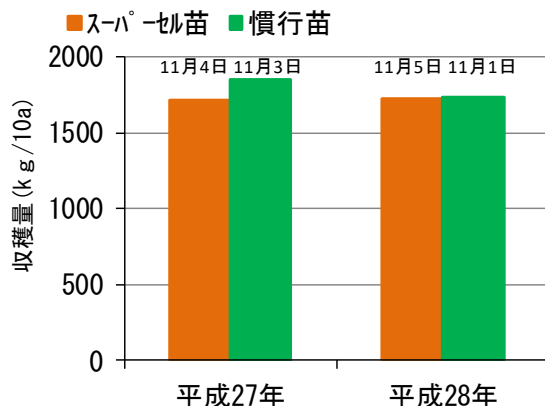
スーパーセル苗は、葉色は淡いですががっちりしています。



育苗方法の違いによる苗の生育（144穴、品種：おはよう）



育苗方法の違いによるブロッコリーの初期生育



育苗方法の違いによるブロッコリー花蕾の収穫量（移植期：8月下旬、図中の月日は収穫盛期）